

# 認定書

国住指第 2257 号  
平成 27 年 11 月 10 日

シーシーアイ株式会社  
代表取締役社長 岡部 修二 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060FL-0826
2. 認定をした構造方法等の名称  
被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管／EPDMゴム系発泡体・シーリング材充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名：

被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管／E PDMゴム系発泡体・シーリング材充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

## 2. 仕様の寸法等：

仕様の寸法等を表1に示す。

表1 仕様の寸法等

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ160mm以下)(管継手の場合) 円形(φ150mm以下)(直管の場合)
	面積	0.0201m <sup>2</sup> 以下(管継手の場合) 0.0177m <sup>2</sup> 以下(直管の場合)
占積率 (開口面積に対する被覆材付配管の断面積の総合計の割合)		81.3%以下(管継手の場合) 80.0%以下(直管の場合)
被覆材付配管と床との隙間の寸法 (クリアランス)		7.5～12mm
貫通する床の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 100mm以上

3. 仕様の主構成材料：

仕様の主構成材料を表 2 に、配管の構成材料を表 3 に示す。

表 2 仕様の主構成材料

項 目		仕 様		
被覆材		材料	無機質混入樹脂シート・ウレタンフォーム積層材	
		使用箇所	直管(たて管・横枝管)及び管継手の外層被覆材	
		処理方法	床上及び床下から 300mm 以上被覆	
	表面材	材料	種類：①又は② ①ポリエステル系樹脂(ポリエチレンテレフタレート等) ②ポリ塩化ビニル系樹脂	
		厚さ	非公開	
	樹脂シート	直管用 (立て管・横枝管)	材料	種類：①又は② ①無機質混入オレフィン系樹脂(表面材は①) ②無機質混入ポリ塩化ビニル系樹脂(表面材は②)
			組成 (質量%)	非公開
			厚さ	
			密度	
		管継手	材料	無機質混入オレフィン系樹脂(表面材は①又は②)
			組成 (質量%)	非公開
			厚さ	
			密度	
	基材	材料	ウレタンフォーム	
		厚さ	非公開	
密度				
貫通部材 (図3参照)	保護テープ	材料	非公開	
		厚さ		
		寸法		
	保持部材	材料	鋼板	
		厚さ	非公開	
		寸法		
	熱膨張材	本体		材料
			質量	
			組成 (質量%)	
		包装材	材料	
			厚さ	
			寸法	
支持部材	材料	鋼板		
	厚さ	非公開		
	寸法			
バックアップ材	材料	非公開		
	厚さ			
	寸法			
充てん材	材料	建築用シーリング材(JIS A 5758) 種類：シリコーン系		
	充てん量	90(±10)g (配管の外径に応じた量とする) (深さ5mm以上×クリアランス幅)		

表3 仕様の配管の構成材料

項目		仕様	
配管	直管 (立て管・横枝管)	材料	種類：①又は② ①硬質塩化ビニル管(JIS K 6741)(記号：VP及びVU) ②水道用硬質塩化ビニル管(JIS K 6742)(記号：VP)
		外径	φ18～φ114mm(記号：VP及びVU)
		厚さ	2.2～7.1mm(記号：VP) 1.8～3.1mm(記号：VU)
	管継手	材料	あり又はなし 種類：①、②又は③ ①排水用硬質塩化ビニル管継手(JIS K 6739)(記号：DV) ②屋外排水設備用硬質塩化ビニル管継手(AS 38)(記号：VUDV) ③水道用硬質塩化ビニル管継手(JIS K 6743)(記号：TS)
		受口外径	φ44～φ124mm(記号：DV) φ67～φ124mm(記号：VUDV) φ24～φ102mm(記号：TS)
		厚さ	2.5～4.3mm(記号：DV) 3.3～4.6mm(記号：VUDV) 2.8～6.2mm(記号：TS)

4. 仕様の副構成材料：  
仕様の副構成材料を表4に示す。

表4 仕様の副構成材料

項目		仕様
ジョイントテープ	材料	オレフィン樹脂フィルム(ゴム系粘着剤付)
	組成 (質量%)	非公開
	寸法	

5. 仕様の構造説明図：  
仕様の構造説明図を図1～図3に示す。

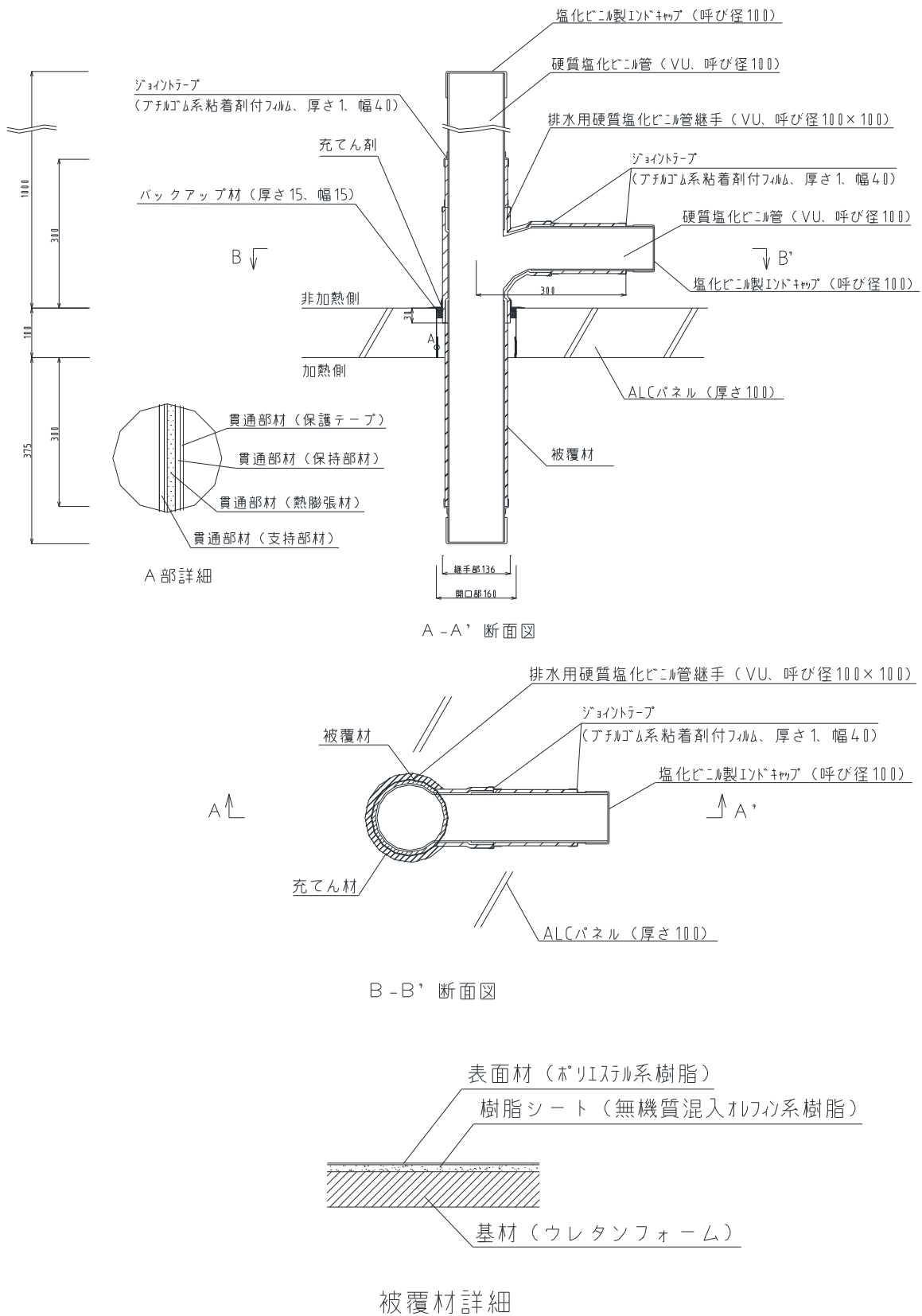


図1 構造説明図（試験体記号 A1、A2）

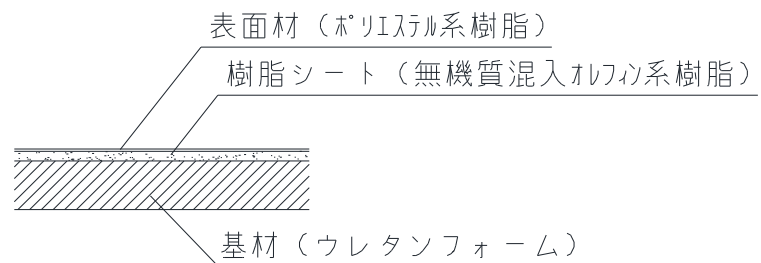
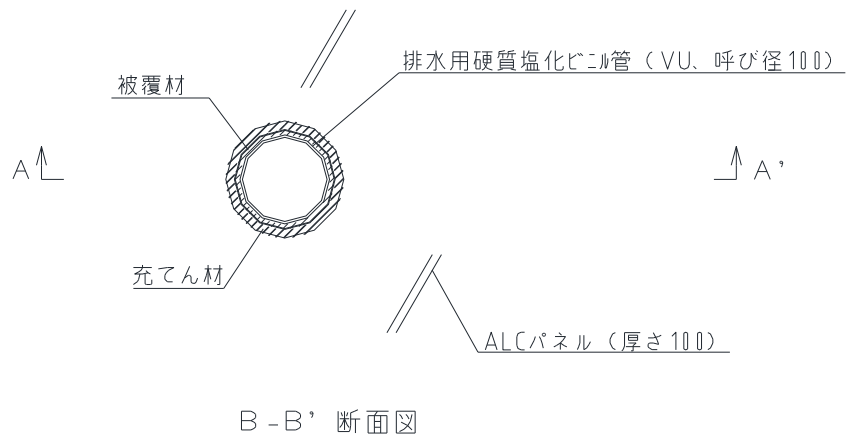
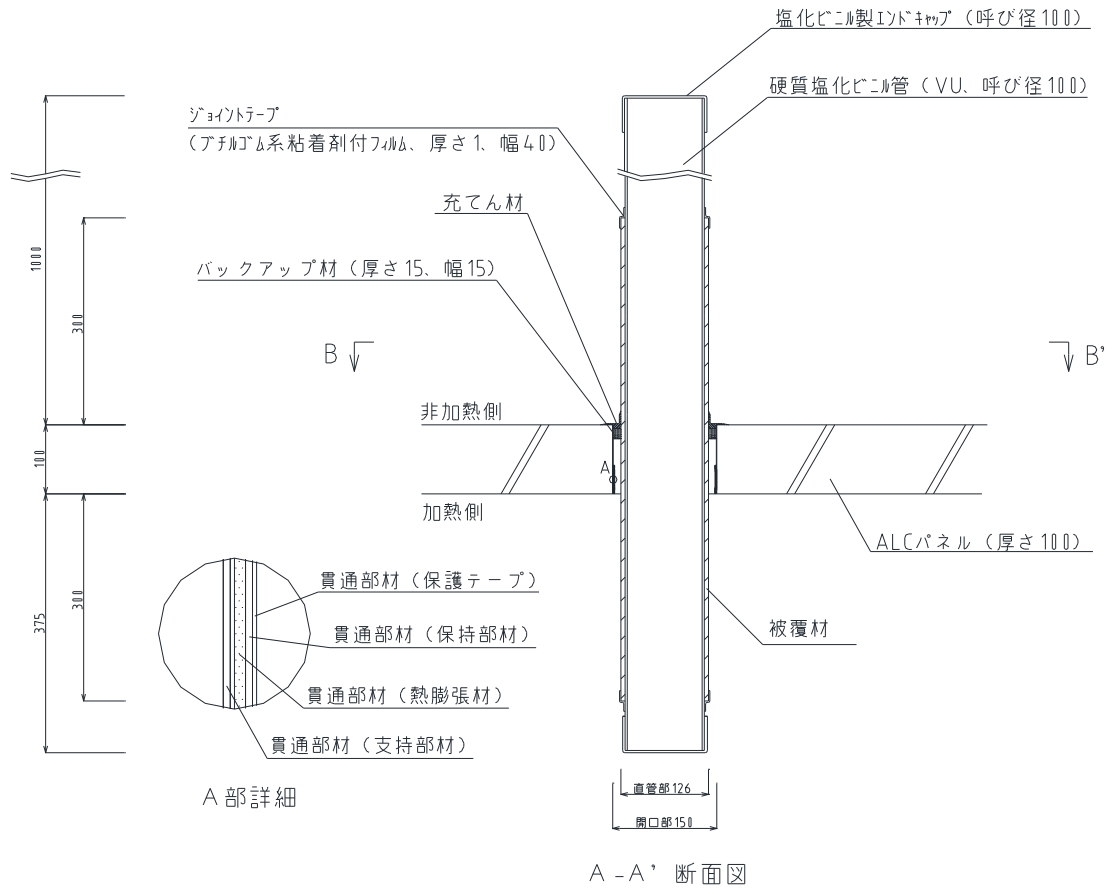


図2 構造説明図（試験体記号 B1、B2）

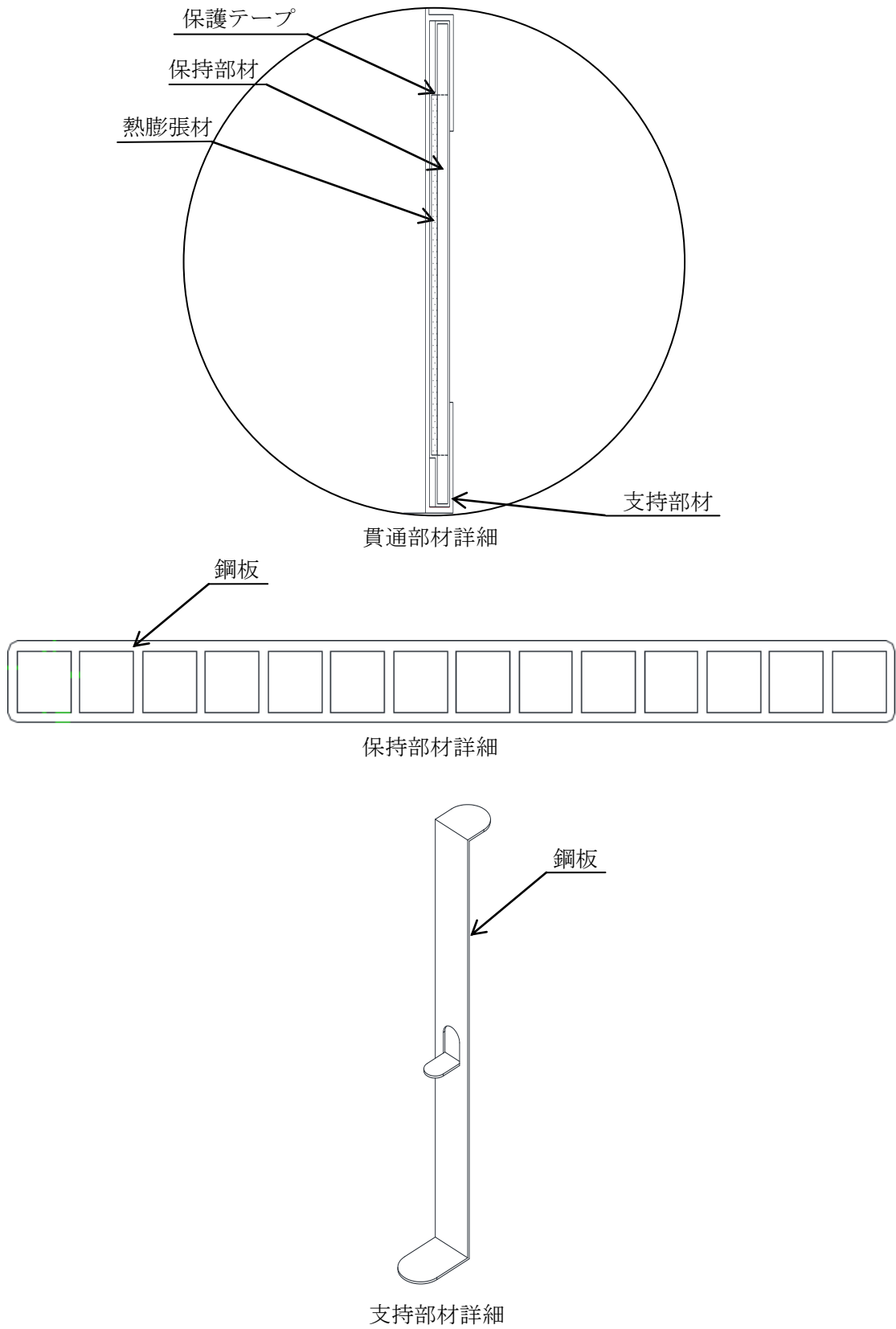


図3 構造説明図（貫通部材）

## 6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

### (1) 直管に施工する方法

- ①被覆材付配管の設置を行い、支持・固定する。  
その際、防音排水管の被覆材長さは、床の上下面から 300mm 以上であることを確認する。
- ②被覆材の端部はジョイントテープで1周以上覆う。
- ③貫通部材を被覆材付配管に巻き付け、床内部に挿入する。
- ④開口部と被覆材付配管の隙間にバックアップ材を入れる(床上面から 5mm 下げた位置)。
- ⑤開口部と被覆材付配管の隙間(深さ)に密に充てん材を入れる。充てん後、隙間の無いことを確認する。

### (2) 管継手に施工する方法

- ①被覆材付配管(床下)の設置を行い、支持・固定する。  
その際、被覆材付配管(床下)の被覆材長さは、床の下面から 300mm 以上であることを確認する。
- ②被覆材の下部はジョイントテープで1周以上覆う。
- ③貫通部材を被覆材付配管(床下)に巻き付け、床内部に挿入する。
- ④被覆材付き被覆材付管継手を、床内部に挿入する。  
その際、被覆材付配管(床上)の被覆材長さは、床の上面から 300mm 以上であることを確認する。
- ⑤開口部と被覆材付管継手の隙間にバックアップ材を入れる(床上面から 5mm 下げた位置)。
- ⑥開口部と被覆材付管継手の隙間に密に充てん材を入れる。充てん後、隙間の無いことを確認する。
- ⑦立て管及び横枝管の被覆材端部は、ジョイントテープで1周以上覆う。